

## 亀島川の水辺開放に向けた河川環境に対する地域住民の意識調査

### Survey of local residents' awareness of the river environment toward the opening of the Kamejima River.

○長谷川演恒<sup>1</sup>, 菅原遼<sup>2</sup>, 畔柳昭雄<sup>2</sup>

\*Nobutsune Hasegawa<sup>1</sup>, Ryo Sugahara<sup>2</sup>, Akio Kuroyanagi<sup>2</sup>

Abstract: Because it is the area of the sea among water gates in the upper reaches, the downstream, and the Kamejima River flowing through Chuo-ku, Tokyo can restrain the flooding in a heavy rain and the river in the having reached its floodmark, I can expect space maintenance for the use of daily waterside. Therefore, in this study, I carried out questionnaire survey targeting at the local inhabitants of the Kamejima River basin and examined a policy of the river environment maintenance of the future Kamejima River by grasping satisfaction or the use degree for the river environment of the Kamejima River.

#### 1. はじめに

東京都中央区を流下する亀島川は2つの河川と繋がり、上流部（日本橋川）・下流部（隅田川）に各々水門が設置され、上流からの増水や下流からの高潮による浸水を防御するように配慮されている。近年は河川空間における整備が進められているが、河岸背後地は建物が密集し、街中から河川を望むことや水辺への接近は限定化されている。

本稿では亀島川周辺に居住する住民を対象に亀島川に対する住民の意識や評価を捉えることを目的とする。

#### 2. 調査概要

調査概要を Table 1 に示す。調査は亀島川の河川環境に対する5項目からなる意識や評価に関するアンケート調査を実施した(2020年9月5日~15日)。調査は、亀島川から居住地までの距離を50m圏(0~50m), 100m圏(51~100m), 150m圏(101~150m)の範囲に分けて配布した。配布数は111件、回収数52件(46.8%)で、50m圏14件、100m圏17件、150m圏21件であった。

#### 3. 結果及び考察

##### 3-1. 生活環境の満足度及び亀島川の重要度

生活環境の満足度及び亀島川の重要度を Figure 1 に示す。調査の結果、生活環境の満足度は「とても満足」が36.5%、「まあまあ満足」が57.7%と高い傾向を示しており、亀島川の重要度は「とても重要」が11.5%、「まあまあ重要」が42.3%となっており、生活環境の中で亀島川を比較的重要視している傾向が窺える。

##### 3-2. 亀島川への来訪頻度及び来訪目的

亀島川への来訪頻度を Figure 2, 亀島川への来訪目的を Figure 3 に示す。亀島川への来訪頻度は、「ほぼ毎日」が全体の40%以上を占めており、特に50m圏は、57%と比較的高い頻度で来訪している。亀島川の

Table1. Outline of the study

調査対象地	東京都中央区 亀島川周辺	アンケート調査項目	質問内容
調査対象者	亀島川周辺の地域住民	①生活環境に関する評価	・生活環境に対する満足度 ・生活における亀島川の重要度
調査実施方法	紙面上及びGooglefoamを用いたアンケート調査	②亀島川の利用状況	・亀島川への来訪頻度 ・亀島川への来訪目的
調査期間	2020年9月5日~15日	③亀島川に対する評価	・亀島川に対する心理的感受度 ・亀島川に対する満足感
配布数	111	④亀島川に対する要望	・亀島川に対する整備要望
有効回答数: 52件	50m ..... 14(40.0%) 100m ..... 17(48.6%) 150m ..... 21(51.2%) 全体 ..... 52(46.8%)	⑤被験者属性	・性別 ・年齢 ・職業 ・家族構成 ・居住年数 ・居住地 ・居住施設

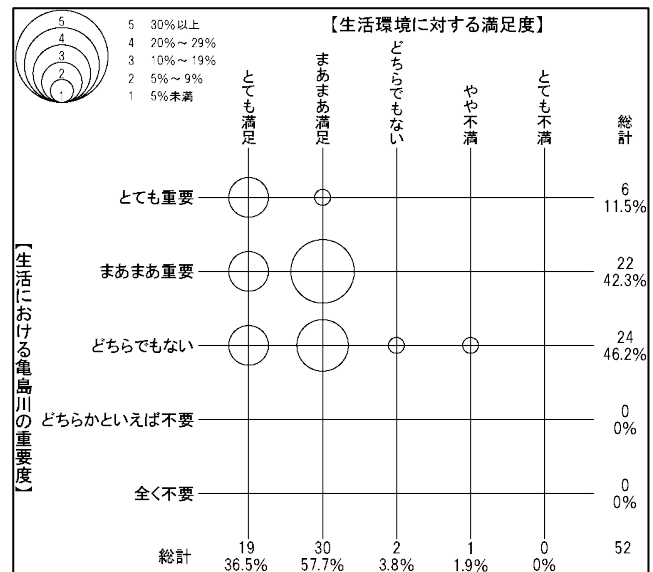


Figure1. Satisfaction and important cross tabulation

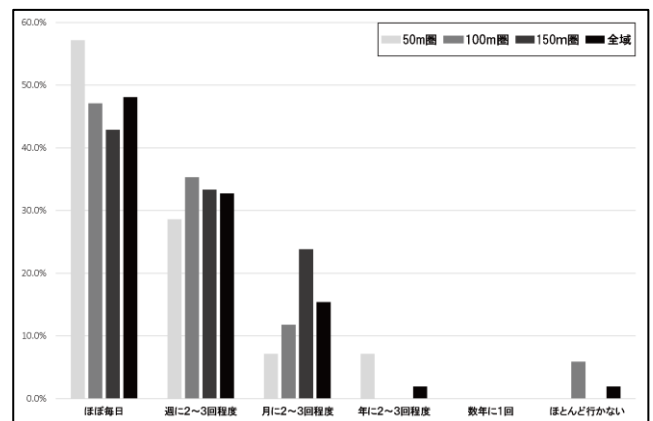


Figure2. Visit frequency

1: 日大理工・学部・海建 Under graduate School, Nihon-U.

2: 日大理工・教員・海建 Associate Prof, CST, Nihon-U., Dr. Eng.

来訪目的は「外出時に通る (70%)」が最も多く、次いで「散歩ルートとして通る (46%)」、「通勤・通学時に通る (36%)」と続き、日常的な移動の際に亀島川を訪れている状況が窺える。一方、「川沿いの飲食店を利用する (9.6%)」、「川の生物の観察 (7.7%)」、「水辺の清掃 (1.9%)」等の河川利用を意図した来訪は限定的であった。

### 3-3. 亀島川の河川環境に対する総体的評価

亀島川の河川環境に対する総体的評価の平均値プロフィールを Figure 4 に示す。これより、「やすらぎ」「開放感(物理的)」「解放感(精神的)」「親近感(親しみ)」が他項目と比較して評価が高く、亀島川の空間的広がりや親しみやすさの特徴を表しているものと考えられる。一方、「不安感」「うっとうしさ」「閉塞感」「恐怖感」「嫌悪感」の河川環境に対するマイナスの印象は総体的に低い傾向にあり、水門や護岸等の亀島川の治水整備が地域住民の河川空間に対する閉塞感には結びついていないことが窺える。

### 3-4. 亀島川の河川環境に対する満足・不満率

亀島川の河川環境 28 項目に対する満足・不満率を Figure 5 に示す。これより、いずれの居住範囲においても「⑫川の風」「⑬涼しさ」「⑭野鳥のすがた」に対する満足率が高く、且つ、不満率が低い傾向にあり、河川環境の清涼性や生物の存在に対しての満足度が高いことが窺える。一方、「④水のきれいさ」「⑤水の色」「⑦水の透明感」「⑭川沿いのゴミの状況」「⑮水面のゴミの状況」に対する不満率が高い傾向にあり、また、「①水への触れやすさ」「⑯水面のレクリエーション利用」に対する不満率も高い傾向にあり、亀島川の水質や管理状況への不満に加えて、直接的な河川利用を図るための空間整備の状態に対する評価の低さも窺える。

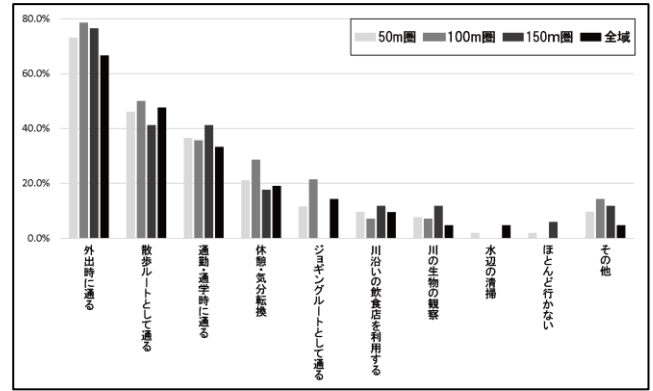


Figure3. Purpose of visit

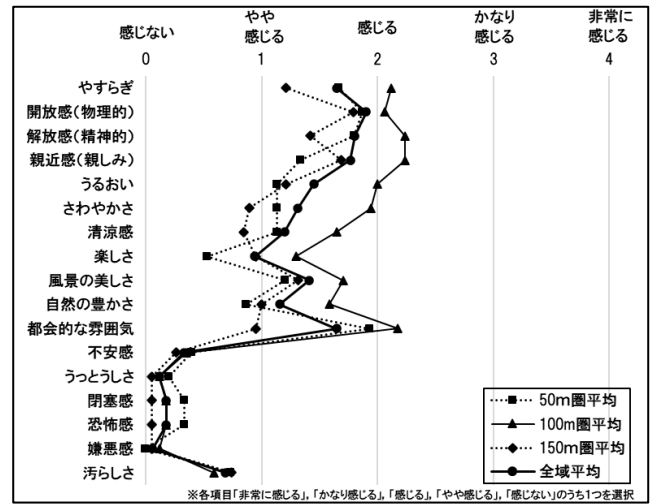


Figure4. Overall evaluation

## 4. おわりに

本稿では、亀島川の河川環境に対する周辺住民の意識や評価を捉えた。その結果、亀島川周辺の地域住民の亀島川への来訪頻度は高いが、河川利用は限定的であった。一方、亀島川の河川環境に対してはプラスの印象が高い傾向にあるため、今後の良質な生活環境の形成のためには、更なる亀島川の水辺空間整備が重要となると考えられる。

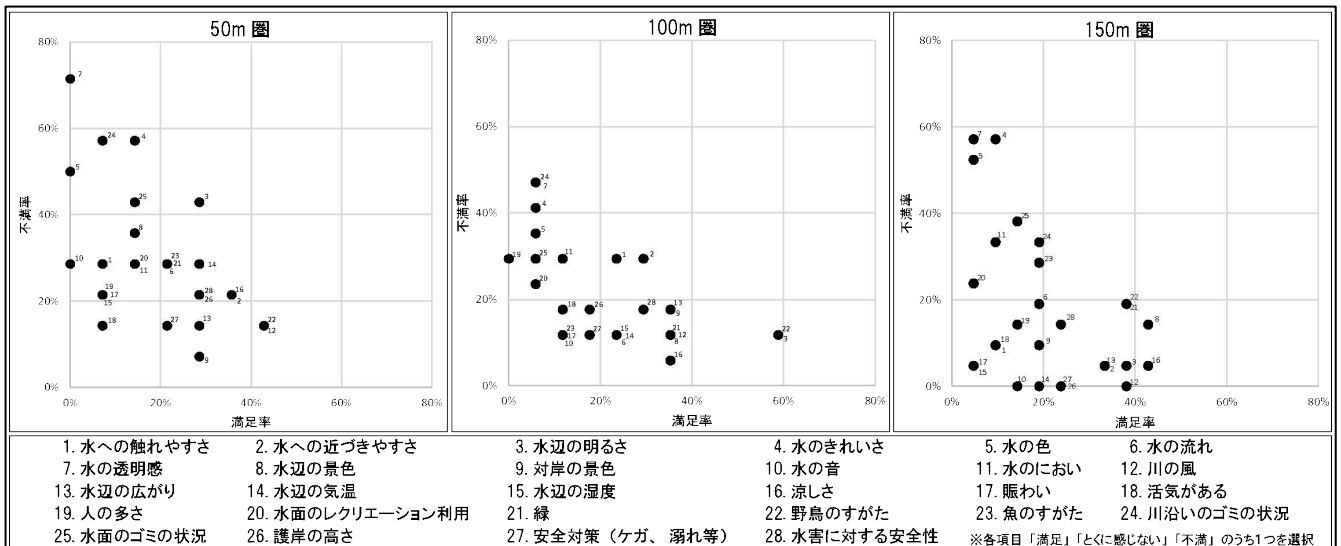


Figure5. Satisfaction rate of river environment